

PSS REPORT 2020

第35期 事業報告書

2019年7月1日 ▶ 2020年6月30日



東証マザーズ上場

証券コード：7707

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスイージー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA（核酸）自動抽出装置は、累計約3万台を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration[®]）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることでと考えています。

業績について

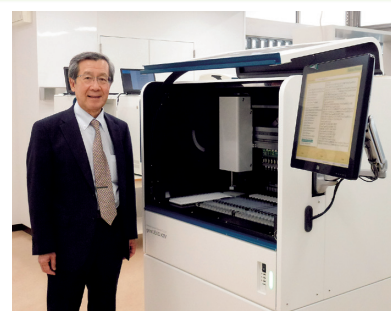
第35期（2020年6月期）連結累計期間業績について ⇒参照 連結財務ハイライト

対前期比では連結通期業績増収でした。特に、世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」確定迅速検査の急増する需要に対応するための増産により、構成別売上のうち試薬・消耗品は大幅な増収（前期比47.3%増）となりました。一方で費用面では、試薬・量産品の量産コストダウンのための積極的な設備投資や、全自動PCR検査システムの応用開発費用等により、連結通期業績では赤字となりました。（営業損失82百万円）

COVID-19により引き起こされた事業環境の変化への対応と「新中期事業計画策定」について

PSSはCOVID-19をはじめ重篤感染症の脅威から掛け替えのない人命や経済を守るためPCR検査体制の構築を目指し、PSSの技術を集積したDNA（核酸）抽出自動化装置（magLEADシリーズ）及び全自動PCR検査装置（geneLEADシリーズ）とPCR試薬とを連携させたシステムを既に完成しています。特にgeneLEADシリーズは核酸抽出とリアルタイムPCRの一貫全自動システムとして、ヨーロッパを中心にPCR検査を実施する世界の医療現場で導入されています。そしてこのたび日本国内においても、全自動PCR検査装置とPCR試薬が保険適用の対象製品となったことにより、本年8月3日より販売を開始しました。重篤感染症によるパンデミックを防止するためPSS自動化システムの普及に鋭意努力します。さらには、COVID-19の確定迅速検査の世界的な需要に対応するためにmagLEADシリーズ及びgeneLEADシリーズ専用の抽出試薬及び消耗品の販売拡大が予想されることから、大館試薬センターにおける新たな自動化設備投資等による量産コストダウン対応が要求されており、事業の成長のための重要な解決すべき課題となっていますが、本年7月17日付において、「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」に採択された事により、この補助金を有効活用することにより順次必要な製品供給能力を確保するべく、日本国内で生産拠点等の整備を行う方針であります。これらの事業の取り巻く環境変化を捉えて、「新中期事業計画策定」を行い、第36期における戦略的に推進する事業テーマとしては①製品製造拡大のための大館第2工場の設立②医療診断システムとしての製品品質向上③PCR（診断）試薬事業の推進を掲げています。

第36期2021年6月期においてはこれらの事業テーマを厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実にみせられるよう事業を推進してまいります。引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

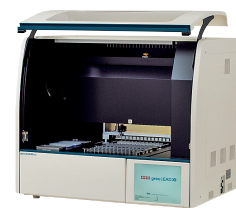


プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日 島 秀 二

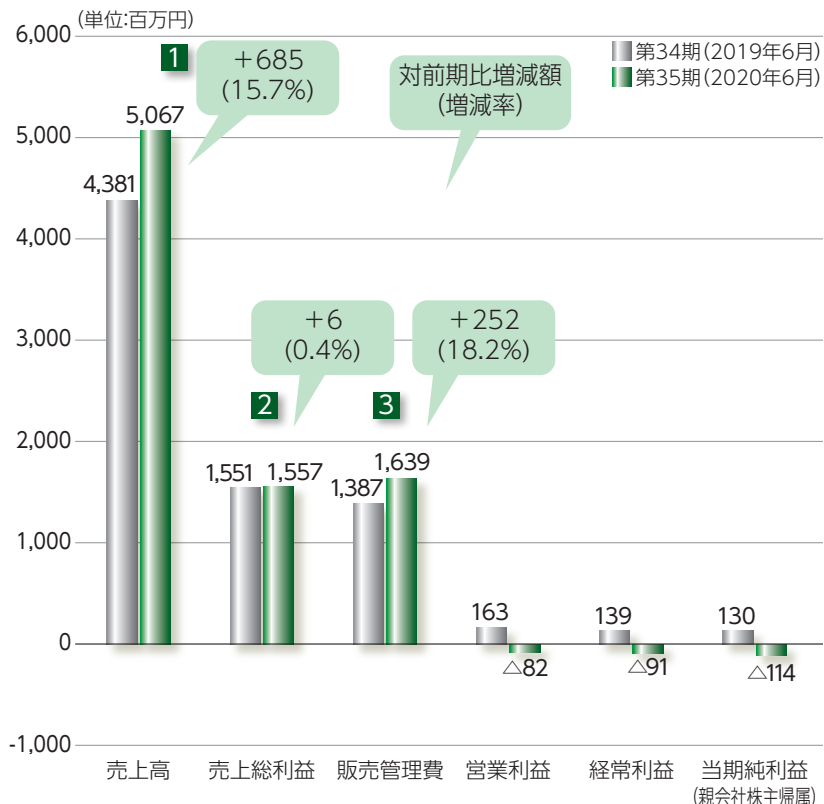
PSSの提案する診断システム

- 全自動PCR検査装置
geneLEADⅫ



第35期(2020年6月期)連結業績

■連結業績は、前期比増収となるも、積極的な設備投資と製品開発投資により業績は赤字となりました。



◆第34期(2019年6月期)業績比

▶売上高の増収

世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」確定迅速検査の需要に対応するために、全自動PCR検査装置や、DNA自動抽出装置及びそれらに付属する消耗品（抽出試薬、プラスチック消耗品）の販売は好調に推移しました。

1

▶売上総利益はほぼ前期並み

試薬量産コストダウンの積極的な設備投資により減価償却費が増加したこと、見込んでいた受注開発案件が獲得できなかったこと等によりほぼ前期並みになりました。

2

▶販売管理費は増加

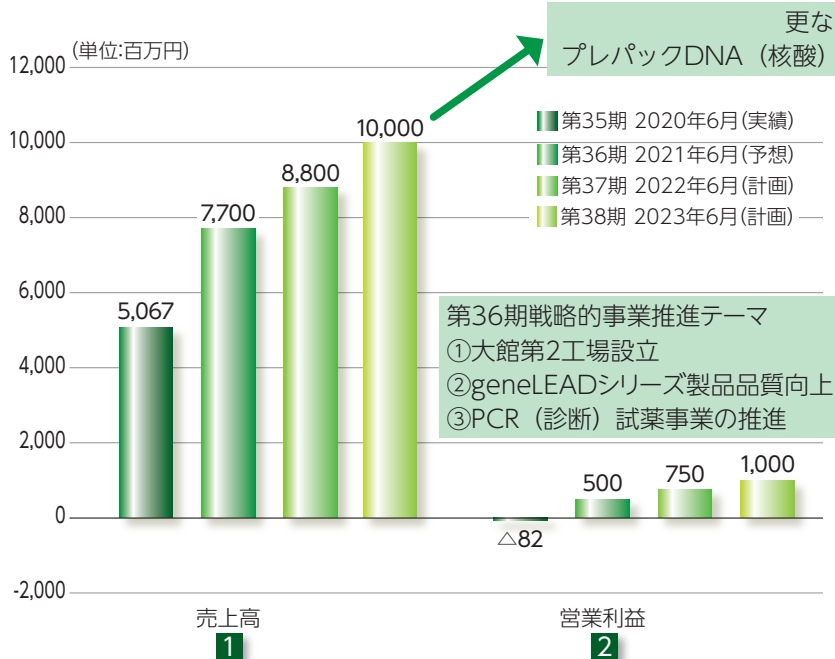
研究開発費は全自動PCR検査システムの応用開発費用等もあり、研究開発費は522百万円(前期比38.4%増)と増加したこと等によるものです。

3

新中期事業計画(2021年6月期～2023年6月期)の策定について

■全自動PCR検査システムの供給を通じて、事業の成長による社会貢献を果たため、中期事業計画の方針としては、1,既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得、2,自社製品のラインアップの充実と販売強化、3,試薬ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げ、売上拡大と利益確保を定めています。

なお、第36期業績予想に関する為替見通しは、1ドル=110円、1ユーロ=120円にて算定しています。



▶大幅な増収の見込み

COVID-19をはじめ重篤感染症の脅威から掛け替えのない人命や経済を守るためPCR検査体制の構築を目指し、最新の製品販売計画及び製品供給能力を鑑みて、2021年6月の売上高は7,700百万円(前期比51.9%増)にて大幅な増収となる見通しです。

1

▶収益を確保しつつ事業拡大のための積極的な投資を実施

PCR検査体制の構築への対応に向けた積極的な設備投資とgeneLEAD24等の製品応用開発投資を継続して行いつつも、営業利益は確保する見込みです。

2

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより

●新中期事業計画策定のお知らせ
(2020年8月28日)

■ 「PSS、「COVID-19 (SARS-CoV-2)」 検査用
全自動PCR検査装置とPCR試薬を8月3日より販売開始」
(2020年7月17日)

■ Certest : SARS-CoV-2

- ・ geneLEAD VIII用
- ・ 凍結乾燥試薬
- ・ 室温保管、輸送可能
- ・ 厚労省保険適用済、CE-IVD取得済



全自動PCR検査装置
geneLEAD VIII



■ PSS、「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」採択と
補助金採択金額（上限）及び補助率の通知について(2020年7月22日)

名称	補助金採択金額及び補助率	設備取得目的と内訳
サプライチェーン対策のための 国内投資促進事業費補助金	採択金額（上限） 2,023百万円 補助率 3/4	DNA（核酸）抽出試薬及び消耗品増産のため の設備投資 (内訳:建物、設備、基幹情報システム)

■ 大館第2工場設立計画
「増産と安定供給に向けて」(2020年8月28日)



会社概要 (2020/6末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
専務取締役 池田 秀雄
常務取締役 古川 昭宏
取締役 田中 英樹
常勤監査役** 荻原 大輔
監査役** 本島 佳代子
監査役** 鈴木 泰浩

(注) **社外監査役

資本金：3,921百万円

従業員数：175名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含めない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ株式会社 (千葉県松戸市)
エヌピーエス株式会社 (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムメーカー

遺伝子・タンパク質解析関連業界における研究開発やその研究成果の実用化に用いられる自動化装置、その他理化学機器、ソフトウェア等の開発及び製造販売ならびに自動化装置に使用される試薬及びプラスチック消耗品の製造販売等。

株式の状況

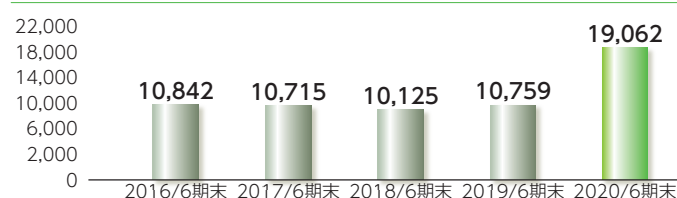
STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
発行済株式の総数 26,366,900株
株主数 19,062名

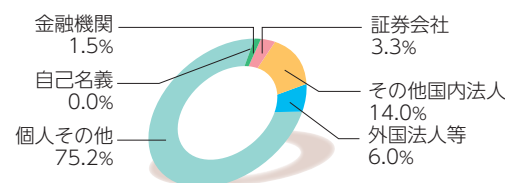
大株主 (2020/6末現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田島 秀二	4,299,200	16.30
株式会社日立ハイテック	2,310,000	8.76
有限会社ユニテック	1,200,000	4.55
日本証券金融株式会社	394,500	1.49
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	330,000	1.25
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY	310,900	1.17
SCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD		
CREDIT SUISSE AG, SINGAPORE	242,400	0.91
BRANCH - FIRM EQUITY (POETS)		
モルガン・スタンレーMUFG株式会社	191,477	0.72
マネックス証券株式会社	145,681	0.55
高山 茂	134,700	0.51

株主数推移 (名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日
中間配当金 毎年12月31日

定時株主総会 毎年9月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先

〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く
9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券
本店、全国各支店
プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。
みずほ信託銀行
本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金の
お支払い

みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 総務部

▶ 7271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶ TEL: 047-303-4800 ▶ FAX: 047-303-4810 ▶ Eメール: ir@pss.co.jp

